

## 神奈川県競輪組合あり方検討委員会について

### 1 設置趣旨

競輪事業は、高度成長期から安定成長期には、好調な売上を維持し、多くの収益配分金を繰り出して、地方財政に貢献してきましたが、近年では、レジャーの多様化やバブル経済の崩壊などの影響を受け、売上の減少が続いています。

こうした中、競輪事業を主催してきた神奈川県、横浜市、横須賀市は、開催運営を一体化し業務の効率化を図るため、平成10年4月に一部事務組合「神奈川県競輪組合」を設立し、経営改善の取組みを進めてきました。

しかしながら、バブル経済崩壊以降の長引く景気低迷、ファンの高齢化等により、売上、入場者数ともに減少傾向に歯止めが掛からず、地方財政への寄与といった本来の目的を果たすことが困難になってきています。

そこで、現在の経営状況や競輪界の状況等を把握した上で、競輪組合の方向性、あり方について、抜本的に検討するため、神奈川県競輪組合、神奈川県、横浜市および横須賀市で外部有識者による「神奈川県競輪組合あり方検討委員会」を共同で設置しました。

### 2 検討委員会の委員

役職	氏名	現職
委員長	山田 紘 祥	文教大学国際学部 教授
副委員長	竹森 裕 子	弁護士
	石飛 博 己	税理士
	小坂 伸 吉	(株)アルファ総合計画研究所 代表取締役
	鈴木 賢 三	(社)全国競輪施行者協議会 総務部長
	平野 末 吉	前全国競輪場施設協会 会長

### 3 主な検討項目

- ・ 神奈川県競輪組合第3次経営改善計画の点検
- ・ 経営改善の方策
- ・ 経営見通しと今後の神奈川県競輪組合のあり方

### 4 スケジュール（予定）

平成21年4月22日	第1回検討委員会 検討委員会設置、神奈川県競輪組合の経営状況
平成21年5月9日	第2回検討委員会 花月園競輪場の視察
6月～8月	検討委員会開催（月1回程度）
8月	報告書提出